

令和5年度

地域のしごとと魅力体感事業
実施結果

令和5年12月8日（金）

福島県

県北地方振興局企画商工部



1 親子体験ツアーの実施

【実施内容】

県北管内の小学生（5，6年生）から中学生及びその保護者を対象とし、次世代産業やイノベ分野などにチャレンジ地域企業での体験・見学や県北地方の魅力に触れる体験ができるバスツアーを実施。

【ツアー概要】

- 空のお仕事体験コース 全2回 参加者：60名（30組）8月1日
- 水素カー組立体験コース 全1回 参加者：26名（13組）9月16日
- 先端農業体験コース 全1回 参加者：14名（7組）10月14日
- ロボット体験コース 全2回 参加者：32名（16組）11月11日、18日

全6回 参加者：132名（66組）

【行程】

《次世代産業等企業体験イベント》 → 昼食
→ 《県北地方の魅力に触れる体験》

【チラシ】



2 空のお仕事体験コース

【コース①概要】

- ① (株)パスファインダーによる『飛行機パーツ分解・組立体験』
- ② 福島市『味処東本店』での昼食
- ③ まるせい果樹園による『果樹もぎ取り体験』



《(株)パスファインダーとは?》

「ふくしまスカイパーク」を拠点に世界で活躍しているエアレースパイロットの室屋義秀さんが代表を務める企業です。「人と大空の架け橋となり、感動を未来に創造する」をモットーに、航空関連の様々な分野で活動されており、「空ラボ」という小・中学生を対象とした学習・体験プログラムなど人材育成にも力を入れています。

《まるせい果樹園とは?》

県北地方で盛んな果樹農業に携わる企業です。福島市で果樹園を経営し、桃やさくらんぼ、りんご、なし、ぶどう、柿など様々な果樹のもぎ取り体験ができます。また、果実を利用したパフェが食べられる「農家カフェ 森のガーデン」の運営もしており、SNS等を利用した販売やPRなどもしています。

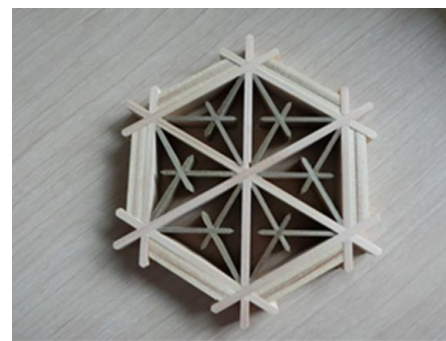
2-1 空のお仕事体験コース

【コース②概要】

- ① 白井木工所による『伊達組子細工ワークショップ』
- ② 国見町『Trattoria da Martino』での昼食
- ③ (株)パスファインダーによる『飛行機パーツ分解・組立体験』 ※コース①参照

《白井木工所とは？》

釘を使わずに木と木を組み合わせ様々な模様を表現する、伝統技術である組子細工。伊達市において、その技術を活用した商品開発や建築をしています。公共施設や木の遊び場など様々な施工例もあります。最近では、従来からの工法だけでなく、3Dプリンターのような最先端の技術を用いた制作も行われています。



2-2 空のお仕事体験コース

【次世代産業等企業体験イベント】

福島市の（株）パスファインダーによる『飛行機パーツ分解・組立体験』を実施し、本物の機体の分解・組立体験や、フライトシミュレーターによる飛行体験をしました。



航空分野は、「開発・設計」、「素材・部品作成」「組立」「点検・整備」「準備・サポート」「飛行」と様々な仕事があり、それらが組み合わさって成り立っていることなど『航空のお仕事』について、教えていただきました。

2-3 空のお仕事体験コース

○ 本物の機体の分解・組立



操縦席に座り飛行機の動きを教えてもらいました。

モーターグライダー実機の主翼部分の分解・組立をしました。
部品の取り外しや付け替え、子どもも保護者も一緒になって主翼の取り外しと取り付けをしました。



2-4 空のお仕事体験コース

○ フライトシミュレーター飛行体験



フライトシミュレーターで福島のを飛ぶ飛行体験をしました。
操縦方法を教えてもらい、ミッションシートどおりの飛行にチャレンジしました。段々高度を落としながらの着陸が難しそうでした。

2-5 空のお仕事体験コース

【県北地方の魅力あふれる体験】

福島市のまるせい果樹園の協力により、果樹のもぎ取りを体験。

果樹園の取組などについて説明をいただいたあと、もぎ取り方や品種の説明を受けながら、楽しくもものもぎ取りを体験しました。



2-6 空のお仕事体験コース

【県北地方の魅力あふれる体験】

伊達市の(有)白井木工所の協力により、伊達組子細工ワークショップを体験。

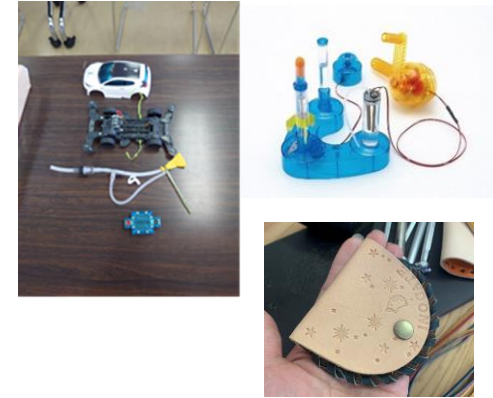
白井木工所の取組や伊達組子細工の伝統などについて説明をいただいたあと、木を組み合わせて作る伊達組子細工のコースター作り体験と施設の見学をしました。



3 水素カー組立体験コース

【コース概要】

- ① ネットトヨタ福島(株)による『水素カー組立体験』
- ② 桑折町『Legare Koori』での昼食
- ③ 伊達市農林業振興公社による『猪革ワークショップ』



《ネットトヨタ福島(株)とは?》

福島市で自動車の販売や点検・整備などを行っている企業です。環境にやさしく、様々なものを作り出す可能性のある水素エネルギーにも注目しており、研究・開発が進められています。最近では水素自動車「MIRAI」など水素について知ってもらう取り組みにも力を入れています。

《伊達市農林業振興公社とは?》

伊達市では、猪を害獣として駆除していましたが、震災後増加する猪の活用が課題となりました。猪を少しでも地域振興に役立てようと猪を「皮」から「革」へ変え、製品作りを行い始めたのが「猪革ワークショップ」です。こういった農林業の振興に関する様々な事業に取り組んでいます。

3-1 水素カー組立体験コース

【次世代産業等企業体験イベント】

福島市のネットヨタ福島(株)による『水素カー組立体験』を実施し、水素ミニカー組立や水素ロケット飛ばしの体験と実車「MIRAI」の見学をしました。

○ 水素カー組立体験



乾電池で動くミニカーに、乾電池の代わりに燃料電池を載せ、水素を入れることで動くかどうか試してみました。乾電池と同じように水素でもタイヤが回りました。

3-2 水素カー組立体験コース

○ 水素ロケットを飛ばす



作った水素の力でロケットを飛ばし、水素の力を学びました。

手回し発電機で電気を作り、水に流すと電気分解が起こります。
それによって酸素と水素が生成されます。
化学の実験のように水素が作れました！



3-3 水素カー組立体験コース

○実写（MIRAI）の見学



水素で走る水素自動車「MIRAI」を見学しました。
走っていても水しか出ないエコな車だということや、電気を作ることもできる車という説明をしてもらいました。
実際に車に乗って、水素自動車の仕組みも教えてもらいました。

3-4 水素カー組立体験コース

【県北地方の魅力あふれる体験】

伊達市の伊達市農林業振興公社の協力により、猪革を使ったワークショップを体験
害獣として駆除される猪を有効活用し地域振興に役立てようと活動していることなどの話を聞きました。その後、専門の道具で色々な模様を付けながらコインケースを作りました。



4 先端農業体験コース

【コース概要】

- ① ベルグ福島(株)による『先端農業体験』
- ② 川俣町『ニュー新川』での昼食
- ③ 二本松市和紙伝承館による『紙漉き&はがき作成体験』



《ベルグ福島(株)とは?》

植物向けのワクチン製造や野菜の接ぎ木苗の販売を行っている川俣町の企業です。種を発芽させ、育った苗を接ぎ木し、育苗したのちに出荷・販売しています。また、全国でも唯一の植物向けワクチンの研究・開発・製造にも取り組んでいます。いずれの取組も従事者が減っている農家の皆さんの安定した収穫をサポートすることを目的とし取り組んでいます。

《二本松和紙伝承館とは?》

伝統工芸である上川崎和紙について、原料となる楮（こうぞ）を育て、昔ながらの流し漉きの製法で作っています。約20種類の和紙と約25種類の紙加工品（はがき・色紙・名刺など）や、上川崎和紙で作られた約120種類の工芸品を扱っており、地元の製作者と協力しながら制作しています。

4-1 先端農業体験コース

【次世代産業等企業体験イベント】

川俣町のベルグ福島(株)による『先端農業体験』を実施し、育苗や植物ワクチンの施設見学や野菜苗の接ぎ木体験をしました。

○ 育苗施設の見学



野菜苗を育てるための施設を見学しました。苗を出荷するまで育てていくために、様々な工程が必要なことを教えてもらいました。

4-2 先端農業体験コース

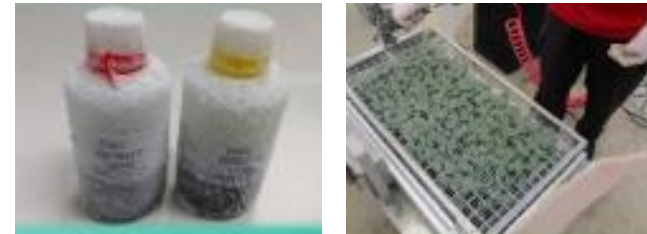
○ 野菜苗の接ぎ木体験



野菜苗に切り込みを入れ、差し込む方向を考えながら接ぎ木をしました。
野菜苗に栄養を送るために必要な子葉を残し、新しい本葉を接ぎ木しました。
とても細かい作業に集中して取り組んでいました。

4-3 先端農業体験コース

○植物ワクチン施設の見学



植物界でウイルス病は不治の病です。同じ種類の植物ウイルス同士は同じ植物に感染できないという事を利用して開発した『植物ワクチン』の施設を見学しました。

植物ワクチンは、収穫された物を食べる私たちにとっても安全性の高い技術だと教えてもらいました。

4-4 先端農業体験コース

【県北地方の魅力あふれる体験】

二本松市和紙伝承館の協力により、上川崎和紙の紙漉き&はがき作成を体験

昔ながらの流し漉きの製法を体験し、草花や切絵を漉き込めたはがきを作ることで、伝統工芸に触れることができました。また、原料となる楮（こうぞ）の木やネリの畑も見学しました。



5 ロボット体験コース

【コース概要】

- ① (株)リビングロボットによる『ロボット&プログラミング体験』
- ② 大玉村『Café&Restaurant たかのは』での昼食
- ③ 糀和田屋による『味噌づくり体験』

《(株)リビングロボットとは?》

子ども向けのプログラミング学習用ロボット「あくるメカトロウィーゴ」を開発した伊達市の企業です。他にも見守りロボットなど人に寄り添い、人と共に成長し、人と共に生きるロボットの製品企画や研究・開発・販売を行っています。様々なイベント等でもロボット&プログラミング体験を実施し、PR活動もしています。

《糀和田屋とは?》

日本の伝統食の味噌など発酵食品の素となる糀（こうじ）を、伝統技術である糀蓋製法で、職人の手作業でつくり、商品開発などにも取り組んでいる本宮市の企業です。安心安全な食材へのこだわりは変わらず、上質な国産原料を使用して、自然な手作りの優しい味わいを大切に製品作りを心がけています。

5-1 ロボット体験コース

【次世代産業等企業体験イベント】

伊達市の(株)リビングロボットによる『ロボット体験』を実施し、プログラミングによりロボットを動かすという体験をしました。

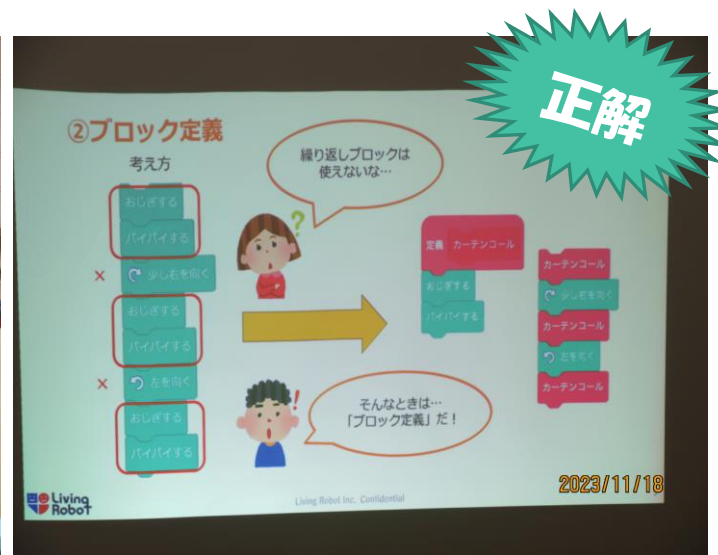
○ 《ミッション1》連続した動作を繰り返しブロックを使って簡素化しよう。



①「右手をあげる」 ②「右手をあげる」 ③「左足キックをする」 ④「左足キックをする」
⑤「右手をあげる」 ⑥「右手をあげる」 ⑦「左足キックをする」 ⑧「左足キックをする」
この動きを「繰り返しブロック」を3つ使って簡素化するのに、頭を悩ませていました。

5-2 ロボット体験コース

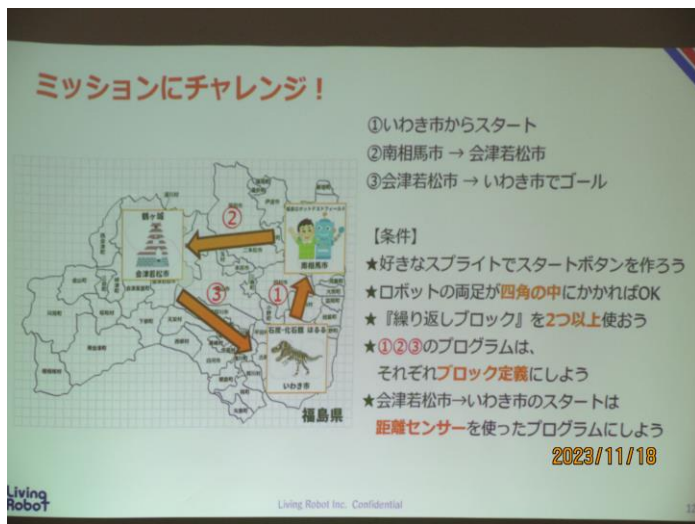
○ 《ミッション2》ブロック定義を使い、数種類の動きを一つのスクラッチにまとめる。



「おじぎをする」「バイバイする」「少し右を向く」「おじぎをする」「バイバイする」「左を向く」「おじぎをする」「バイバイする」という動きを、ブロック定義を使いまとめました。すぐにブロック定義が使えるところを見つけている参加者もいました。

5-3 ロボット体験コース

○ 《ミッション3》福島県の地図上を、いわき市→南相馬市→会津若松市→いわき市の順にロボットが歩くように指示をしてみよう。



「繰り返しブロック」を2回以上使うなどの条件を満たしながら歩行する指示を出しました。指示内容や微調整に悩みながらプログラムを組み立てました。距離センサーを使ったプログラムが特に難しかった様子が見られました。

5-4 ロボット体験コース

【県北地方の魅力あふれる体験】

本宮市の糴和田屋の協力により、味噌づくり&工場見学を体験

日本の食文化には欠かせない「味噌」の手作り体験をしました。味噌の原料となる糴（こうじ）についての話を聞いたり、製造工程を間近に見られる工場見学もしました。



6 親子体験ツアーまとめ①

アンケート結果から

- 知らなかったことを知ることができたことへの満足感
- 体験をやり遂げ自信がついたことやチャレンジすることの楽しさを感じた
- それぞれの企業の技術や取組に対する驚き
- 県北地方（福島県）には魅力的な産業があり、身近にも様々なことに挑戦している魅力的な企業がある
- 自分たちも挑戦できる環境があると分かった
- 福島の良いところを自分たちも伝えていきたい

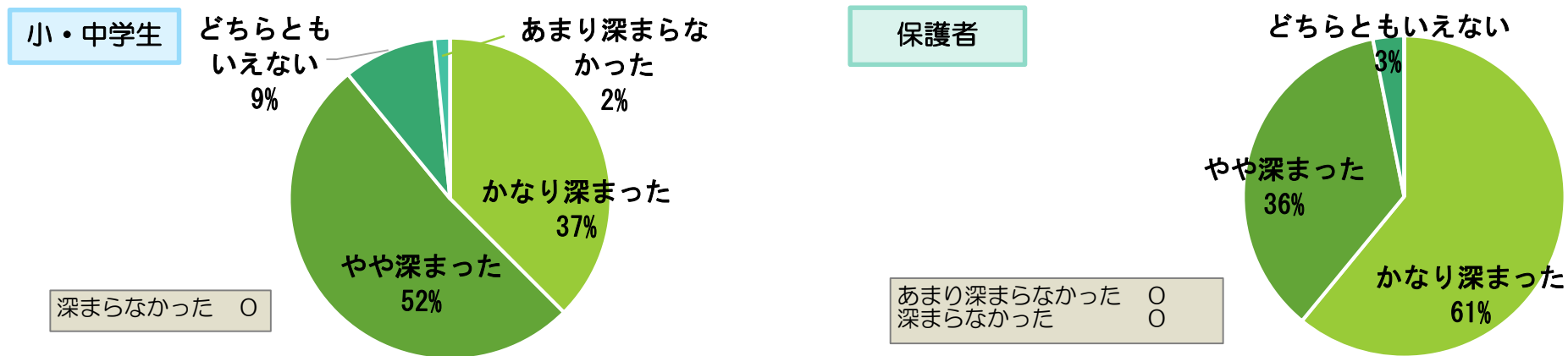


全体的に高い満足度

※体験について「満足」「やや満足」が90%以上

6 親子体験ツアーまとめ②

地域で活躍する企業の仕事への興味・理解は深まりましたか？

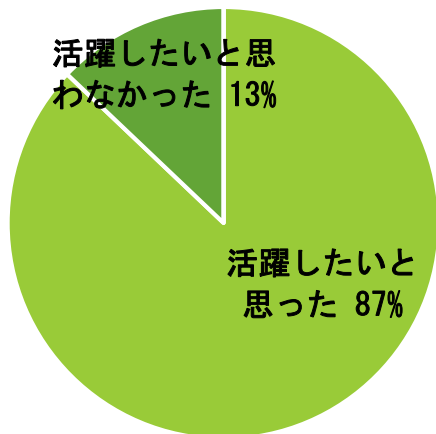


「かなり深まった」「やや深まった」と回答した参加者が、小・中学生では89%、保護者は90%を超え、地域企業の仕事に対する興味や理解を深めることができたツアーとなりました。

6 親子体験ツアーまとめ③

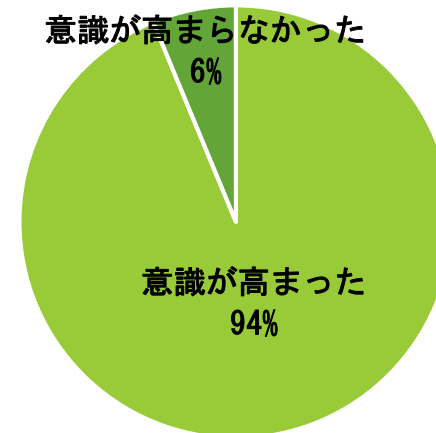
Q県北地方の魅力に触れ、将来的に“福島県で活躍してみたい”と思いましたか。

小・中学生



Q県北地方の魅力に触れ、将来的に子どもたちに福島県で活躍してほしいという意識は高まりましたか。

保護者



既に将来の夢が決まっているという参加者もいましたが、福島県で活躍してみたいと回答した小・中学生が87%もいました。保護者からは、子供の好きな仕事をしてほしいため地域にはこだわらないという意見もありましたが、94%の方から福島の魅力を感じて活躍してほしいという意識が高まったとの回答がありました。